

広島流夜街文化創出コンソーシアム

—神楽団調査—

平成18年12月

NPO法人広島神楽芸術研究所

目 次

広島流夜街文化創出コンソーシアム－神楽団調査－

1. 調査の目的	P. 3
2. 調査対象神楽団	P. 3
3. 調査の方法	P. 3
4. 回答神楽団数	P. 3

結果概要

質問 1	P. 4
質問 2	P. 5
質問 3	P. 6
質問 4	P. 7
質問 5	P. 8

アンケート結果について P. 9

コンソーシアムの方向性について P. 9

調査個票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・神楽団別個票

【資料】

調査対象神楽団送付資料

広島流夜街文化創出コンソーシアム－神楽団調査－

この調査は、経済産業省の平成18年度「サービス産業創出支援事業（観光・集客交流サービス分野）」により、広島流夜街文化創出コンソーシアム構成団体NPO広島神楽芸術研究所が実施した。

1. 調査の目的

神楽は、本県の代表的な民俗芸能として認知され、近年、観光要素としても注目されている。

このことについて神楽団の率直な意見及び本コンソーシアムで検討している神楽常設館の是非について神楽団の意見を収拾することを目的として実施した。

2. 調査対象神楽団

広島県内の神楽団で主に石見神楽系を伝承している神楽団とした。

広島市内の神楽団については、安芸十二神祇系を伝承している神楽団も対象とした。

3. 調査の方法

平成18年11月中旬に郵送により実施、提出期限11月30日とした。

対象神楽団数 150 団体（実郵送数 134 通 宛て先不在 1 通）実調査団体数 133 団体
（返信用封筒入り、FAXも可とした）

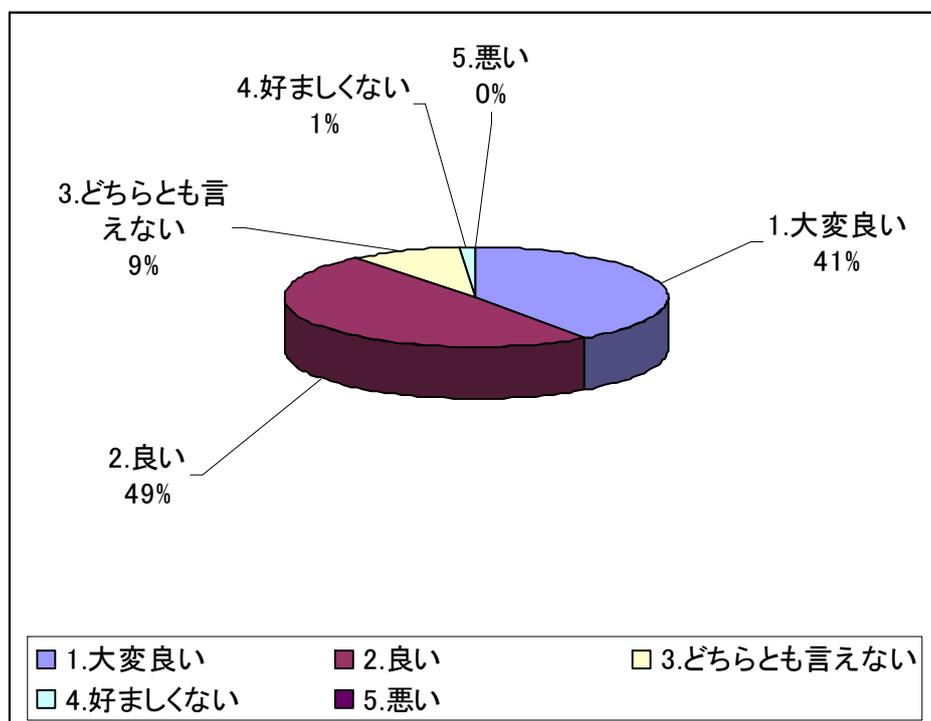
4. 回答神楽団数

74 団体 回収率 55.64%

結果概要

質問 1

近年神楽は、文化的な観光資源として注目され、広島市内でも多くのイベントや大会が開催されています。神楽を観光資源として活用することについてお伺いいたします。



本来、奉納神楽として伝承されてきた「神楽」であるが、現在では、ホテルのディナーショーや各種イベントが実施され、神楽団が出演している。

大変良い 41%、良い 49%と神楽を観光資源として利用することについては、神楽団も概ね理解していると考えられる。

一方で、どちらとも言えない 9%、好ましくない 1%がある。

神楽本来の意義を大切にされている神楽団の意見と思われる。

【否定的意見抜粋】

3. どちらとも言えない

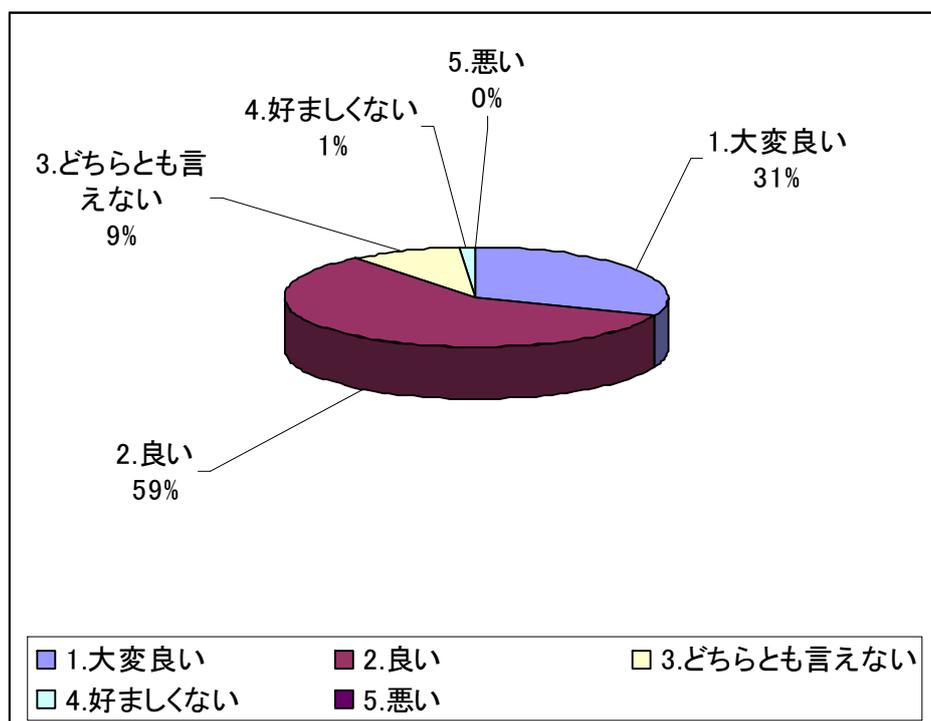
神楽を存続していく条件としては、衣装代等経費の確保が大きなウエイトを占めており、その為発表の機会の確保は重要です。私どももホテルのディナーショー出演等もしていますが、反面では、神楽本来の姿からはずれているのではと考えているところです。

4. 好ましくない

色々な地域で神楽を観光資源として活用している状況下で、イベント、大会が増えていけば、それぞれの地域の集客力が落ちこむ事が心配される。

質問2

春のフラワーフェスティバルでの「夜神楽」、秋の「ふるさとは神楽 de Night」など、広島市内中心部で夜神楽が開催されています。このことについてお伺いいたします。



大変良い 31%、良い 59%と広島市内での夜神楽実施については神楽団の理解が得られている。

一方で、どちらとも言えない 9%、好ましくないが 1%ある。

質問 1 と同様、神楽本来の意義を大切にされている神楽団の意見と思われる。

【否定的意見抜粋】

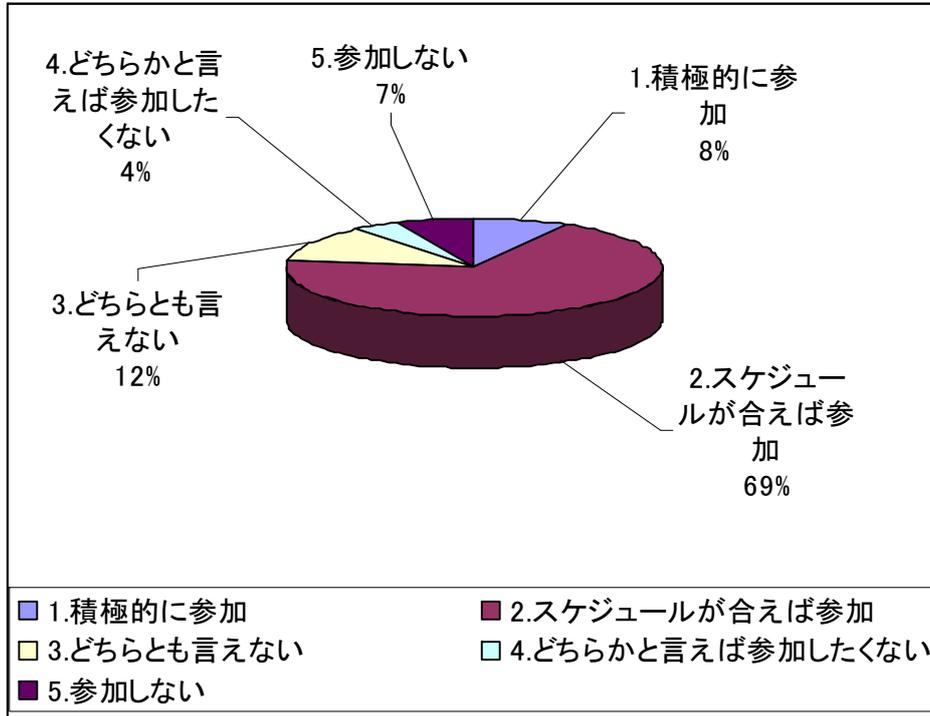
3. どちらとも言えない

質問 1 と同じく多くの人に神楽を見てもらえるという点では良いと思うが、開催の目的が「集客」だけだという感じがする。観光として利用するなら他の地域から「神楽を見るために広島に来る」「広島神楽の雰囲気味わいたい」といえる中身を考えるべきだと思う。広島在住の人限定ならば回数が多いと思う。

質問3

広島市内中心部での夜神楽について（参加動向）

土曜日あるいは日曜日に実施すると仮定して、参加意向をお聞きします。



夜神楽への参加動向についても積極的に参加 8%、スケジュールしだいが 69%と積極的である。どちらとも言えない 12%、どちらかと言えれば参加したくない 4%、参加しないが 7%あるが、質問 1.2 と同様意見及び、神楽団の状況(団員不足など)が大きく影響していると考えられる。

【否定的意見抜粋】

3. どちらとも言えない

参加の気持ちはあるが、当神楽は旧舞で十二神祇の舞でもあり、百年以上同じ舞方を継承しているもので、新しく創作的な舞でもなく、リズムも単調で、今時の若者が好む、山県を中心とした舞と比べ、少し見劣りがある。

そして、団員も少なく継承するのが「やっと」という現状である。

主旨、内容をお聞きし当神楽の思いなど協議し、理解得れば積極的に参加したい。

4. どちらかと言えれば参加したくない

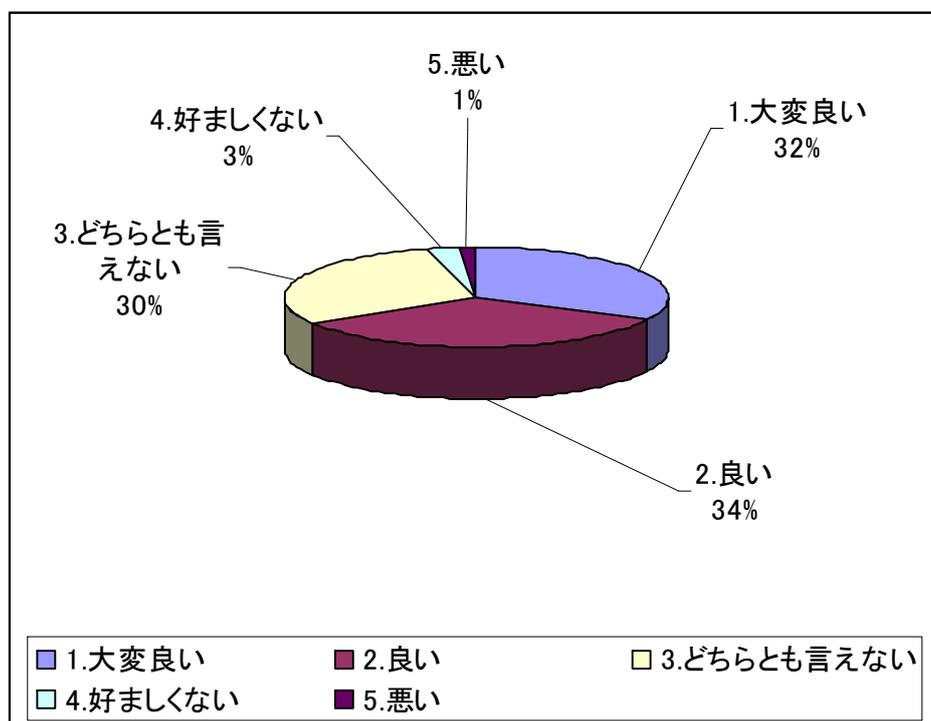
一年を通して計画されているのか具体的内容はわかりませんが、県内、広い地域に神楽団が存在する中、団員の負荷が大きくなるような気がします。

5. 参加しない

奉納神楽としてはなじまない

質問 4

現在、広島市中心部での賑わい創出の一環として、神楽常設館の可能性について検討されています。神楽常設館を設置することについてお伺いいたします。



神楽常設館を広島市内中心部に設置する事について聞いてみた。

大変良い 32%、良い 34%と高い期待を示しているが、どちらとも言えない 30%、好ましくない 3%、悪い 1%となっている。

神楽団の存在する地域は過疎地が中心であり、観光で町おこしに取り組んでいる。

造るなら地元への意見も数多く寄せられている。

【否定的意見抜粋】

3. どちらとも言えない

神楽団を維持していくため出演料をいただけるのなら出演の可能性はあるが、市中心部の賑わい創出のためなら少し考える。地元活性化等のためなら喜んで参加する。

4. 好ましくない

本来神楽は、田舎(農民)で、農作物に感謝し奉納されていた。市内中心部でいつでも見れる施設があれば、神楽本場の田舎に観光客はこなくなる。

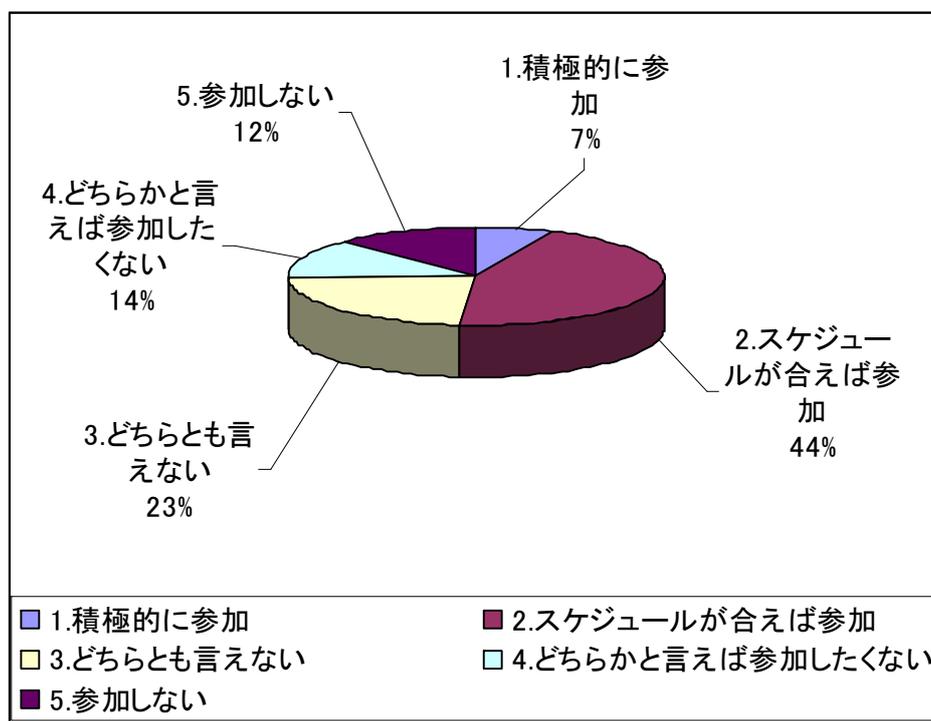
5. 悪い

中山間地域にたくさんの人に来てほしいので、市内で常に見られる状況というのは好ましくないと思います。見たいときに見に来てもらい、芸北に足を運んでもらえると地方の活性化につながります。

質問5

広島市中心部に神楽常設館が出来たと仮定します。(参加動向)

平日夜の公演も視野に入れた参加動向をお聞きします。



平日夜の公演への出演について聞いてみた。

積極的に参加 7%、スケジュールが合えば参加 44%と好意的である。

一方、どちらとも言えない 23%、どちらかと言えれば参加したくない 14%、参加しない 12%となっている。

神楽団員は、仕事を持っているので、平日の参加は無理との意見が大多数を占めている。

また、いっそプロの神楽団を結成しては等の意見もあった。

平日夜の公演については、団の理解と団員のスケジュール調整が重要なポイントを占めている。

【否定的意見抜粋】

3. どちらとも言えない

団員個々に仕事の違いがあります。時間調整等で平日夜の公演は難しい面もあります。

4. どちらかと言えれば参加したくない

現在神楽団員も少なく、このようなイベントに参加するのは難しい現状です。

5. 参加しない

平日は無理

【アンケート結果について】

神楽を観光資源として活用することについて「神楽団」はどう感じているのか？

このような調査は始めて実施したのであるが、好意的な意見が多いのにびっくりしたのが率直な感想である。

なお、各質問の意見欄に相当数の書込があり、各神楽団の現状や、神楽に対する率直な意見が数多く寄せられている。

(添附資料参照)

【コンソーシアムの方向性について】

「広島・夜・賑わい」を模索するなかで、アートパフォーマンス・夜景・ナイトクルージング・など様々な夜のコンテンツが提案されるなかで、他の地域にはない独自性を全面にアピールできるアイテムとして、「ひろしま神楽」をとらえる事ができる。

すでに、来場者アンケートなどで、「ひろしま神楽」のもっている観光資源としてのポテンシャルの高さは実証済みであり、今後本コンソーシアムとして、どうアレンジし、ブレイクさせる事ができるかが、今後の課題ではないだろうか。

一方、この「ひろしま神楽」は、過疎にあえぐ地域の人々によって、維持・発展されており、過疎地域の観光資源として重要な役割を担っていることを忘れる事はできない。

広島市内の観光客の増加による、過疎地域への誘導など、連携したプロモーションが最も重要と考える。

本コンソーシアムの提案が、他地域の「郷土芸能を活かした」観光・集客交流サービスのモデル事業として活用される事を願っている。

**広島流夜街文化創出コンソーシアム
神楽団調査報告書**

2007年1月17日

NPO法人広島神楽芸術研究所 <http://www.npo-hiroshima.jp>

〒731-1521 広島県山県郡北広島町丁保余原1501-1

(〒731-1515広島県山県郡北広島町壬生149)

TEL(0826)72-5307 Fax(0826)72-4401 mail office@npo-hiroshima.jp

編集代表者 増田 恵二

NPO法人広島神楽芸術研究所 (広島分室)

〒731-3166 広島市安佐南区大塚東1-1-1広島修道大学大学院社会学日隈研究室

TEL(082)830-1136 FAX(082)848-6633 mail higuma@shudo-u.ac.jp

アンケートにご回答いただく皆さまへ

NPO広島神楽芸術研究所
理事長 日隈 健一

前略

このたび別紙により、アンケート調査をお願いしておりますが、この目的は、広島市内の八丁堀から紙屋町周辺の「夜のにぎわいづくり」を計画しようとするものです。

そして、県内外、特に広島を訪れる観光客の方に、夜の広島を楽しんでもらう為に、音楽・芸術活動をはじめ、様々な分野からご意見を頂く一環として、近年脚光を浴びている「神楽」について、神楽団の皆さまのご意見をお聞きするものです。

私たちNPOは、今後とも、地域の人々がふるさとに自信と誇りを持ちながら充実した暮らしができる「ふるさとの社会環境づくり」を神楽と芸術の側面から支援しようと活動しています。

皆さまの忌憚りの無いご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

このアンケート調査は、広島流夜街文化創出コンソーシアムの委託を受けて実施しています。

草々

神楽団の皆様へ

ひろしまりゅうよるまちぶんか

広島流夜街文化創出コンソーシアム

代表団体 株式会社 中国放送

調査委託 NPO広島神楽芸術研究所

理事長 日隈 健壬

アンケート調査について（お願い）

この調査は、経済産業省の平成18年度「サービス産業創出支援事業（観光・集客交流サービス分野）」により、広島流夜街文化創出コンソーシアムが実施するものです。

神楽団の皆さまには、大変お忙しい時期で恐縮ではございますが、ぜひご協力頂きますようお願いいたします。

1. 目的

この事業は、広島中心部の夜の賑わい創出について、調査・研究しています。

広島市中心部で、夜、ショッピング、食事、参加型夜遊び、ライブなどが連携しながら地元の人だけでなく、旅行者やビジネスマンも楽しめる魅力ある「街」を提供し、「夜を飽きさせない広島」イメージの定着を目指しています。

神楽は、本県の代表的な民俗芸能として認知されて、近年、観光要素としても注目されています。

本アンケートでは、**広島市中心部での夜の賑わい創出の一環として、「夜神楽」を取り上げ、実現の可能性**について調査させて頂くものです。

2. 広島流夜街文化創出コンソーシアム構成団体

代表団体 株式会社 中国放送

委託団体 株式会社 中国博報堂

株式会社 KN情報システム

NPOセトラ

ひろでん中国新聞旅行 株式会社

NPO広島神楽芸術研究所

協力団体 株式会社 フリーク

ユイ・コンピューティング株式会社

広島修道大学

中国地方総合研究センター

3. 提出期限について

提出期限 平成18年11月30日(木)

4. お問い合わせ

〒731-1521

広島県山県郡北広島町丁保余原1501-1

NPO広島神楽芸術研究所 事務局 増田 恵二

TEL. 0826-72-5307 Fax. 0826-72-4401 E-Mail: office@npo-hiroshima.jp

広島流夜街文化創出コンソーシアム-神楽団調査票-

2006年調査2枚目のうち1

整理コード(事務局使用欄)

神楽団名	神楽団名		
	ご回答者名	神楽団での職名	お名前
質問1	近年神楽は、文化的な観光資源として注目され、広島市内でも多くのイベントや大会が開催されています。神楽を観光資源として活用することについてお伺いいたします。		
1. 大変良い 2. 良い 3. どちらとも言えない 4. 好ましくない 5. 悪い			
ご意見があればご記入ください。			
質問2	春のフラワーフェスティバルでの「夜神楽」、秋の「ふるさとは神楽 de Night」など、広島市内中心部で夜神楽が開催されています。このことについてお伺いいたします。		
1. 大変良い 2. 良い 3. どちらとも言えない 4. 好ましくない 5. 悪い			
ご意見があればご記入ください。			
質問3	広島市内中心部での夜神楽について(参加動向) 土曜日あるいは日曜日に実施すると仮定して、参加意向をお聞きます。		
1. 積極的に参加 2. スケジュールが合えば参加 3. どちらとも言えない 4. どちらかと言えば参加したくない 5. 参加しない			
ご意見があればご記入ください。			
質問4	現在、広島市中心部での賑わい創出の一環として、神楽常設館の可能性について検討されています。神楽常設館を設置することについてお伺いいたします。		
1. 大変良い 2. 良い 3. どちらとも言えない 4. 好ましくない 5. 悪い			
ご意見があればご記入ください。			

広島流夜街文化創出コンソーシアム-神楽団調査票-

2006年調査2枚目のうち2

整理コード(事務局使用欄)

質問5	広島市中心部に神楽常設館が出来たと仮定します。(参加動向) 平日夜の公演も視野に入れた参加動向をお聞きします。
1. 積極的に参加 2. スケジュールが合えば参加 3. どちらとも言えない 4. どちらかと言えば参加したくない 5. 参加しない	
ご意見があればご記入ください。	
その他ご意見があればご記入ください。	

※ご協力ありがとうございました。

提出期限 平成18年11月30日(木)でお願いします。

回答は、同封の封筒または、FAX. 0826-72-4401でお願いします。

【問い合わせ/送付先】NPO広島神楽芸術研究所 〒731-1521 広島県山県郡北広島町丁保余原1501-1
TEL.0826-72-5307 FAX.0826-72-4401 E-Mail:office@npo-hiroshima.jp HP:http://www.npo-hiroshima.jp/

→終了